

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成 30 年度担当科目</p> <p>【本科】総合工学実験実習Ⅰ、有機化学Ⅱ、環境有機分析、環境物質化学演習Ⅰ 環境物質化学実験Ⅱ、基礎研究、卒業研究</p> <p>【専攻科】理論有機化学、機能性材料、工学基礎研究、工学特別研究</p> <p>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 演習プリントによる学力補充指導（小テスト補充指導）の実施と学生の相互学習 2. アクティブラーニング形式の演習授業 <p>◆ 特記すべき教育方法の実践例</p> <p>環境物質化学演習Ⅰでは、アクティブラーニングを取り入れ、演習プリントを班単位で取り組み、班で解答した内容をプレゼンテーション形式で発表し、相互理解を深めるように実施した。</p>
研究	<p>◆ 平成 28～30 年度における研究業績</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学術論文執筆 専攻科生による公開講座「泥んこ電池をテーマとした実験教材の開発」（研究紀要、2018 年 12 月、共著） ■ 学術講演会での発表 <ol style="list-style-type: none"> 1. 過酸化水素水を酸化剤とするトリフェニルメタン系機能性色素のグリーンサステイナブル製造法（2018 年 3 月、共著） 2. ベンゾシクロブテンの新規合成法の検討（2018 年 3 月、共著） 3. Control of Intramolecular Excimer Emission by Dimerization of Phosphorescent Cyclometalated Platinum Complexes（2019 年 3 月、共著） 他 4 件 <p>◆ 平成 28～30 年度における外部資金獲得状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トリフェニルメタン系色素の酸化反応に用いた重金属の除去とヘテロポリ酸の再利用法の検討（2018 年、教育奨励寄付金） 2. C-H 活性化反応を用いた環化反応に利用可能な基質の拡大（2017 年、共同研究） 3. ヘテロポリケイタングステン酸の合成と触媒としての利用（2017 年、教育奨励寄付金） 他 1 件
社会貢献	<p>◆ 平成 28～30 年度における公開講座・出前授業の取組状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子と親の楽しいかがく教室（ミクロの背世界を探る、2 日間開催）【公開講座】 2. 中学生の化学実験教室（DNA を取り出してみよう）【公開講座】 3. マイクロカプセルを作ろう！【出前授業】 他 6 件

◆ 特記すべき社会貢献の内容

校長顕彰（公開講座・出前授業の実施に関して）【平成 28～30 年度】